



7月16日午後3時より大田区にある入新井集会所にて夏のお楽しみ会が開催されました。早々に梅雨の明けた東京はこの日も朝から暑い一日でした。毎年恒例のお泊まり会が東日本大震災の後を受けて急遽代案として考えた親睦会です。参加者は、本人の小学以下が6名、本人(中学~大人)20名、兄弟2名、父さん2名母さん17名そして横谷先生、藤田先生、鎌田先生と総勢50名のにぎやかな集まりとなりました。

久しぶりの年代別ディスカッションからはじまりました。プログラム2番では、お母さん2名と成人本人2名による「ターナーと出会ってから」といった内容の体験談です。それぞれにご準備くださった発表はどれも参加者の心に響きました。快く発表を引き受けて下さった4名の皆さんに改めて感謝いたします。続く会食会では子供達どうし親同士好きな場所で会話も弾む夕食となりました。そして、藤田先生からは国際カンファレンスの準備としてアメリカターナーの会へ送ったDVDの紹介がありました。

更にこの時間を借りて横谷先生の還暦をお祝いするサプライズもありました。

最後は、会場の椅子をみんなでシアター形式に並べ替え本当の「お楽しみ会」のはじまりです。本人たちによる合唱と演劇の発表会。「大きなかぶ」で犬を演じたHちゃんは、わかばの会初参加でしたがすっかり皆のアイドルになりましたね。合唱では大人の会の皆さんによる両親や先生方への感謝サプライズまで飛び出しました。参加者皆が一つになった思い出の一日となりました。マイクが電池切れだったのか調子よくなくてごめんなさい。でも特製お弁当もなかなか美味しかったです。

初めて利用した会場でしたが皆さんの同意もいただき、秋の講演会も同じ場所で開催が決まりました。今度は講演会なのでお楽しみはありませんが、今回参加できなかった皆さん是非秋の講演会(親睦会)へお越しください。達成感に包まれたお楽しみ会幹事でした。(Y)

参加者からの声

● Eさん(中3・本人)

久しぶりに友達に会えて、楽しかったです。演劇と合唱の練習は大変だったけれど、本番はうまくできてほっとしました。お姉さん達の体験談を聞いて、就職してからも大変なんだなと思いました。私も仕事の内容が覚えられるか心配だけれど、今できる事を一生懸命やって自分にできる仕事をみつきたいです。

● Iさん(母)

今回入会して二度目のイベントの参加となりました。恒例のお泊まり会は中止となり、日帰りのイベントでしたが、家族一同大満足、そして感動の一日となりました。当日は横谷先生と藤田先生にも参加していただき、年齢や合併症によって異なる悩みや不安を、親切丁寧に聞いていただきました。成長ホルモンを始める時期や、注射する時間帯、注射を行なう人は誰か、父親の協力の大切さ、女性ホルモン治療への切り替え時期など、質問によっては個人差があるために答えが必ずしもある訳ではありませんでしたが、皆同様な不安を持っているということを知ることが出来て安心しました。後半は個別発表会で体験談を話していただきました。幼少から成人するまでの本人の苦悩された話は、測り知れないものがあり、就職されてからも対人関係やターナー特有の性格による悩みは、本人だからこそ感じ得る心に響く言葉ばかりでした。「ターナーに生まれたのは、お母さんのせいだと思わないで欲しい。」と言ってもらえたのは、心のつかえが取れたようで、涙が止まりませんでした。最後に、本人たちの発表会で劇と合唱を一生懸命披露してくれました。あなた方のそのひたむきな姿に、明るい未来を信じずにはいられませんでした。本当にありがとうございます！